

令和2年7月定例仙台市社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日 令和2年7月27日(月)
- 2 開会及び  
閉会の時刻 午前10時00分開会 午前11時45分閉会
- 3 開催場所 仙台市役所教育局第1会議室
- 4 出席委員氏名 阿部哲也委員, 小形美樹委員, 加茂光孝委員, 庄司弘美委員,  
高城みさ委員, 高橋満委員, 高山典子委員, 野原昌之委員,  
松本由男委員, 松山智美委員
- 5 事務局職員 筒井生涯学習部長, 佐藤生涯学習支援センター長,  
田中生涯学習課長, 勢藤生涯学習課主幹, 唐牛生涯学習課企画係長,  
生涯学習課企画係松田主事
- 6 会議の次第
  - (1) 開会
  - (2) 挨拶 高橋委員長
  - (3) 協議事項
    - ①諮問への答申へ向けた論点について
    - ②その他
  - (4) その他
  - (5) 閉会
- 7 会議の概要
  - (1) 協議事項
    - ①諮問への答申へ向けた論点について
      - 事務局より、「(仮称)仙台市教育プラン」の骨子案の状況について説明がなされた。検討委員会が8月に延期となったため、内容については次回以降の会議でご報告することとなった。
      - 諮問の答申へ向けての協議に入る前に、委員長より、委員長・副委員長・事務局で検討課題について協議した内容の説明がなされた。
        - ・前回の会議では「障害者」「若者」「貧困家庭の子ども」という視点で検討した。
        - ・「若者」は前回の会議でも委員から意見が出たように、社会教育事業に限らず興味があることについて積極的に活動している。
        - ・「貧困家庭の子ども」という視点は生涯にわたって学習機会をどう提供するかという点を強調したほうが良いのではないかと。
        - ・今回の検討課題は「障害のある市民の生涯学習について」と「貧困のなかにある人びとの生涯学習について」という二つの検討課題に絞って議論をしていくこととする。
      - 事務局より資料1に沿って、仙台市の現状の施策と傾向、課題について説明がな

された。議論の切り口として、障害者の生涯学習については「当事者のニーズを探ってみるのはどうか」、貧困のなかにある人びとの学習については「どのように生涯学習につながる施策を組み立てるのか」という切り口が示された。

○以下は委員から述べられた意見と事務局の返答。

・科学館学習は社会教育に入るのか。

→学校教育のなかの授業として行われているものなので「生涯学習事業」ではないかもしれないが、社会教育施設に興味を持つきっかけになっていると考えている。

・どこでもパスポート事業の利用状況について当初より学校への問い合わせが少ないのが気になる。

→持っている方はほぼ使用しており、定着しているためと考えている。

・社会教育施設の障害者の減免制度について

→仙台市の社会教育施設について、常設展示は100%減免、特別展示は50%減免となっている。

・諮問は「すべての市民の学びに向けた生涯学習施策」となっているが、どういった基準で「参加できている」とするのか。

→数値としてお示しすることは難しいと考えている。過去に生涯学習事業に関するアンケートを行ったが、興味関心や時間的な問題から「一年に一度も生涯学習事業に参加できていない」と回答いただいた方がいた。そういった方に向けて何らかの形で「生涯学習事業に触れている」という実感を持っていただけるようにしていきたいと考えている。

(委員長からの補足)

統計的なものではなく、事例を分析して実際に活動している方を調査し、現状をとらえていくという方法をとっていく。

・仙台市の子どもの貧困について

→配布した冊子「つなぐ・つながる仙台市子ども応援プラン-仙台市子どもの貧困対策計画-」を参考にさせていただく。

○グループに分かれての議論

・「障害のある市民の生涯学習について」のメンバーは、高橋委員長、加茂委員、庄司委員、高城委員、高山委員で構成。取りまとめは庄司委員。

・「貧困のなかにある人びとの生涯学習について」のメンバーは、小形副委員長、阿部委員、野原委員、松本委員、松山委員で構成。取りまとめは阿部委員。

○「障害のある市民の生涯学習について」の議論内容

・各委員から現状についてのご意見をいただいた。あまり詳しくないという方が多く、調査を進めていく中で可能性を探りたいという意見が多かった。

・福祉プラザ等、実際に調査を進めていく中で課題など確認していきたい。

○「貧困のなかにある人びとの生涯学習について」の議論内容

・貧困層の方々に直接話を聞くことは難しいので、支援している団体や、実際接しているの方々に調査を行っていきたい。

・貧困の表面的なことではなく、貧困の原因や抱えている問題まで話を伺えるよう調査していく。

○各委員から調査したいところのリクエストをいただき、事務局にて日程調整を行い、実際の調査は委員で分担しながら対応していくこととした。

②その他

○事務局から、令和 2 年度に策定予定の仙台市のまちづくりの指針となる新たな総合計画について紹介がなされた。

8 その他  
特になし

「仙台市社会教育委員の会議実施要領」第 4 条及び第 5 条に基づき会議録を作成し、同要領第 6 条に基づき委員長及び会議録署名人が署名押印する。

令和 2 年 8 月 28 日

委員長

高橋 満

会議録署名人

庄司 弘美